

住吉台中学校区

学校支援地域本部だより

平成 24 年度版 NO.10



発行 住吉台中学校区
学校支援地域本部

連絡先

080-1816-9979 (宮本)

022-376-5138 (住中)

平成 25 年 3 月 5 日発行

★ 地域の皆さまに感謝! ★

24 年度の学校支援地域本部の活動が無事終了しました。3 年目を迎えた今年度は住吉台小学校も加わり活動の幅が広がりました。

小中学校の先生方に積極的に利用していただき、またそれに対して地域の方々も快く協力していただいたことで充実した活動となりました。特に地域の方々からのご支援やご協力には大変感謝しております。

スーパーバイザー 2 名で運営していますので、ボランティアの方へのフォローが足りなかったなど手のまわらなかったこともありました。また、頭の中で思い描いていることは色々あっても、実行に移すまでには至らなかったこともあります。

次年度は反省点を踏まえながら、ますます学校と地域の結びつきが強くなるように努力していきたいと思えます。

ご協力いただきました皆さまどうもありがとうございました。そしてこれからもどうぞよろしく願いいたします。

スーパーバイザー 中学校担当 宮本 真由巳
スーパーバイザー 小学校担当 佐藤 慶子



中学校



★ 相談室ボランティア ★



学校には生徒の悩みの相談や話し相手をしてくれる「さわやか相談員」がいます。住吉台中学校では裏川久美子さんが正規の相談員として週 2 日勤務しています。

その相談室にボランティアで毎週月曜日に来ていただいているのが地域在住の青柳さんです。青柳さんは 2 年前に、何か中学校でお手伝いできないかと自ら学校を訪れて、当時の校長先生の提案で相談室のボランティアに就かれました。

青柳さんは「生徒たちとの触れ合いは楽しいし、色々勉強になることもある。」とおっしゃっていました。その優しい人柄に、相談室を訪れる生徒たちもいやされることと思えます。



小学校



★ 6年生 ゲストティーチャー★

「自分作り教育」の一環として、「先輩に学ぶ」の授業も5回目。2月13日（水）は校医としてもお世話になっている大澤先生に『校医としての想いと医療について』のお話を伺いました。

「よく食べ、よく寝て、よく遊び」

①食べ物の好き嫌いをなくすことは、もちろん健康の為に良い。栄養バランスをとることは、ひいては心のバランスがとれること。人間関係も食べ物も好き嫌いが無いほうが豊かになっていく。1年に1つでいい、嫌いなものをなくそう。

②よく眠らないと授業中も眠くなる、勉強がわからなくなる。【寝る子は育つ】というが、これは本当のこと。集中して勉強。集中して寝る。夜更かしをしないように。

③遊ぶとは、ゲームだけでなく身体を動かすことが大切。身体を動かすことで、食べ物もおいしく食べられる、頭もよくなる。

また、学校や家庭での目標や夢を持つこと。目標を持たないと夢はかなわない。本を読むことで、疑似体験ができたり、様々なことを知ることができる。自分の日々の積み重ねが、自分の進む道を作っていく。大澤先生自身も、様々な夢を持ち、いつしか医療の道を志すようになったこと。そして、その夢を叶える為には、「よく食べ、よく寝て、よく遊び」が大切であるということ。

医療には、様々な職種があり、みんなで協力しあってできる仕事であること。大澤先生自身も日々医療の進歩の中で、勉強し続けているというお話を伺いました。6年生は真剣に話を聞き、日頃の生活習慣を反省し、改めて将来の夢について考えたようです。

地域のゲストティーチャーの全5回の授業を通して、6年生たちの心に「すてきな種」がまかれたことと思います。ご協力いただいた皆様に改めて感謝申し上げます。

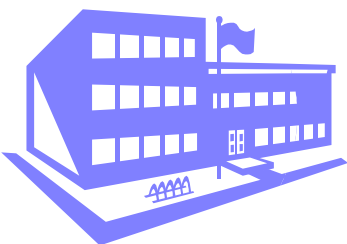


★ 6年生 地域に感謝の光を ★

6年生が理科の授業で、パソコンとつないでLEDのプログラムを学習しました。プログラミングは、宮城教育大学 水谷准教授にご指導いただきました。

そのLEDは、イロハノヒカリ 2013 ~ 感謝を込めて未来へ ~ と名付けられ、3月8日（金）18:00~ 点灯式後、13日（火）まで北校舎の窓を彩ります。6年間、授業の場で、登下校で、日々の生活の中で、お世話になった地域の様々な方々への感謝の気持ちと、また復興・絆の想いをLEDに込めました。

6年生の「地域感謝プロジェクト」のメンバーも、日々準備に頑張っています。ぜひ、足を運んでご覧ください。



学校のHPから学校支援地域本部にお入りください。この1年間のおたよりなどがカラーでご覧になれます。